

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	7th Sense 彩都駅前		
○保護者評価実施期間	令和8年 3月 2日		令和8年 3月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	令和8年 3月 2日		令和8年 3月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 4月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	終了しても残る力を育成 (将来の自立につながるような支援)	<p>昨年に引き続きレッスン開始時に「立腰・呼吸・暗示」の取り組みを入れています。①「立腰」は腰骨を立てる姿勢をとり、②「呼吸」で鼻から息を吸い口から吐く深い呼吸をし、最後に③「大丈夫できる」「わたしはできる」と「自己暗示」をします。毎回の療育時に継続して取り組むことで、ポジティブな姿勢と折れない心(レジリエンス)を育てる取り組みをしています。</p> <p>さらに、広い意味での学習(教科学習以外も含む)のベースとなる支援や、具体例を用いたライフスキルトレーニング(ソーシャルスキルトレーニング)の取り組み(将来に必要なであろう文章作成力、PCによる資料作り、発表の練習等々)も含めた取り組みにも力を注いでいます。</p>	<p>今後も立腰・呼吸・暗示の取り組みを実施していきます。難しい姿勢の保ち方や暗示(自身のない子どもが「できる」と言うこと)が当たり前のようになれるように声かけ他工夫をしていきたいと思っています。</p> <p>ライフスキルトレーニング(ソーシャルスキルトレーニング)において、般化が難しい場合もあるので、家庭や園などの他機関とも連携し、子どもが混乱なく身につけていけるよう務めてまいります。</p>
2	子どもの強みを活かせるようする支援	<p>保護者からのアセスメント、療育時にできるだけ子どもの強みを見つけていくよう努めています。それらを職員(指導員)間でも共有をしています。「これは強みだ」と思ったことは本人はもちろん、保護者の皆さまに対してできるだけ肉声や報告書、ビジネスLINE等の文面を活用して伝えています。</p> <p>強みを見つけるために、指導員は子どもたちをとて丁寧な観察することを実施し、場合によってはリフレーミング等も活用しています。</p> <p>子どもや保護者が弱点だと思っていることも、見方を変えれば実は強みになるということを知っていただけるようお伝えしています。</p>	<p>今後は自分で自分の強みを認識し、他者に伝えられるように支援をしていきたいと考えます。それができるような療育の取り組みや声かけを皆で考え、実施していきたいと思っています。</p> <p>通常のレッスンに加え、専門的支援も活用していく予定です。</p>
3	発達段階に合わせた支援を行うことで自己理解へつなげていく	<p>子どもの支援をする上で生活年齢に加えて、発達段階を考慮して支援を行っております。</p> <p>生活年齢からの比較をすることなく、発達段階に即した支援を行うことで、子どもたちの「できた」の積み上げ経験ができます。また保護者の皆さまも子どもを多角的にみることができるようになってきます。</p> <p>そのような支援を継続して行うことで、自分自身を否定せず(自己否定をせず)自分のことを理解できるようになっていきます。</p> <p>そのような支援を心がけています。</p>	<p>研修などを取り入れておりますが、実際には経験値により難しく感じている指導員もおります。</p> <p>今後も職員一同、研修・カンファレンスを重ねて、より観察力を養い、考え、ブラッシュアップし、子どもの発達段階を考えた支援を行えるよう精進してまいります。</p>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催について	<p>昨年に引き続き、保護者会について保護者の皆さまからご要望があり、計画はあるものの、現状実施できておりません。現在は同時間帯の送迎時に、皆さま自ら情報共有等をされていることが多く、事業所としてはそれをアシストぐらいになっています。</p>	<p>次年度には、実施していく方向で考えております。実施の際には全体発信でお知らせいたします。</p>
2	家族支援プログラムの実施	<p>現在、活動概要に関しては療育の報告(写真等を含む)ぐらいで、全体的な告知ができておらず、ご希望をいただいた時のみ個別で対応をさせていただいております。</p> <p>皆さまに様に周知ができていないのが、現状でございます。</p>	<p>今後、事業所として家族の対応力の向上を図るためにペアレントトレーニング(ペアレントプログラム)の実施を検討したいと考えております。</p>
3	活動概要のHPへの掲載・通信の配布(活動の情報発信)	<p>現在、個別での活動(療育)報告のみになっています。</p> <p>彩都教室で行われている療育の概要や1つ1つの取り組みの意義などを通信(ペーパー)などでお知らせしたいと思いつつ、残念ながらできておりません。</p>	<p>小さいサイズからはじめていきたいと思っています。</p> <p>配布(発信)できるようになりましたらお知らせいたします。</p>

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 7th Sense 彩都駅前

公表日 令和8年 4月 17日

利用児童数 23

回収数 14

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12	2	0	0	部屋によってばらつきがある。	適切に確保しているつもりですが、疑問等ございます場合は、随時お尋ねください。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	12	2	0	0	いろいろな先生のレッスンを当てるようにして欲しい。固定気味になっているので配置等考えて欲しい。英語に対応できる先生を配置してもらえるとありがたい。	曜日時間帯により同じ先生になってしまふこともあり申し訳ございません。レッスン予定を立てる際は気をつけてまいります。英語に関してはすぐの対応は難しいかもしれません。ご了承ください。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	2	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13	1	0	0	少し臭いが気になる時がある レッスンとは別で時間枠を取って個別面談等して頂きたい。いつも送迎時の待ち時間に相談するという感じになるのでしっかりと時間をとって話したい。	率直なご意見をありがとうございます。臭いを含めて清潔さを保てるよう努めていきます。今後はレッスン後ではなく、相談のお時間を取らせていただきます。皆さまからお声かけをしやすい雰囲気を作っていきます。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11	3	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11	3	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12	2	0	0		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10		1	3		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11		1	2		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11		1	2		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	6	1	5	2		
保 護	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14		0	0		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9	1	2	2	今年度に関しては途中で診断がついたの で来年度の支援計画に期待しています。	きちんと対応させていただきます。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	2	2	3	診断がついた際にペアレントトレーニングを受講するよう言われたのですが、普段療育で診てくださっている施設でペアレントトレーニングを是非とも開催して頂きたいです。	ペアレントトレーニングについては計画 中です。決まりましたら皆さまにお知らせいたします。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	12	2	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10	2	1	1	時間枠を取ってする機会はなく、送迎時に少しご相談すると言う感じなので個別面談の時間をお願いしたいです。	相談のお時間が取れておらず申し訳ございません。今後は計画的にお時間をとる、あるいはお声かけをさせていただきます。

者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13		0	1	先生方はとても親身になって頂き、よく特性を理解してくださっていると相談時に頂くアドバイス等から感じます。先生によって違います	ご理解いただきありがとうございます。指導員は皆熱心に取り組んでおります。今後は指導員によって対応に違いがないよう共有してまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	1	5	4	他の集団療育の事業所では保護者交流等ありますが、こちらの事業所では無いので、あると助かります。	保護者交流会の計画はございません。決まりましたら皆さまにお知らせいたします。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	0	0	3		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12	1	0	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	7	2	0	5		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13	0	0	1		
	非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	0	0	2	
24		事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13	0	0	1		
25		事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12	1	0	1		
26		事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12	0	0	2		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	13	1	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	11	3	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	13	1	0	0	英語対応できる先生の着任を希望致します。	率直なご意見をありがとうございます。ご希望にそえるよう努力いたしますが、すぐに対応できない可能性もございます。ご了承ください。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	7th Sense 彩都駅前		公表日		令和8年 4月 17日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		運動を沢山する時やグループレッスンは広い部屋で、じっくり取り組む時は小さな部屋にするなど使い分けをするようにしています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			不測の事態に対応できるよう人員配置を配慮していきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		バリアフリーに対応しています。色彩をおさえた部屋を用意することで、視覚過敏のお子さんにも対応できるようにしています。	情報伝達に関する掲示についてはもう少し工夫をしていく予定です。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○			今後も清掃等に力を入れていきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		原則レッスンは個別で行っています。	グループレッスン時に個別にする必要がある時は部屋を確保し、対応をしていきます。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		定期的な会議を実施、情報共有を行っています。	会議に全員参加ができない時もあり、その時に確実に共有できるよう議事録での共有、口頭での共有も合わせて行っております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		年に1回事業所アンケートを行っております。	実現できていないこともありますが、チーム力で次年度は実施できるよう努めてまいります。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的な会議の実施、業務通常の対話等の風通しよい環境を設け、業務改善につなげるようにしています。	次年度は面談をしていきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		第三者評価は実施しておりません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		法人内での研修、事業所内での研修の他、オンライン研修と契約し、2か月ごとに研修内容を更新し、視聴後レポート作成をしています。	今後も継続して実施していきます。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページに児童発達支援のプログラムを掲載しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		子どもや保護者からのニーズ等を指導員が聞いた場合も皆積極的に共有をしています。それもアセスメントの1つとして活用しています。	さらにアセスメントを充実させていけるよう検討し、適切な計画づくりをしていきます。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		日常の療育後や定期的な会議等で共有を行っており、支援にかかわるすべての指導員で検討しています。	新人職員が入職した場合も、忌憚なく意見が言えるような環境づくりに努めてまいります。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援内容で迷うことが生じたり、外れそうになった時には声をかけ、再度皆で確認をしています。	日々指導員が確認できるよう、もう少し工夫したいと思います。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		こどもの適応行動の確認は、日々の行動観察等のインフォーマルなアセスメントが主となります。フォーマルなアセスメントとしては保護者から提供される検査結果が主となります。	今後標準化されたフォーマルなアセスメントができるようになった場合は、積極的に取り入れていきたいと思っています。

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		設定しています。 できるだけ具体的に記載しています。	今後も継続して実施していきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		彩部の常勤指導員を中心に全員で行っています。	今後も継続して実施していきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		固定化しそうな時は、各自情報交換する、他の指導員に質問するなど、固定化しないよう努めています。	他教室との情報共有や外部の事業所とも交流を図り、プログラムが固定化しないよう努めています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		原則個別療育ですが、小集団の療育を組み合わせている場合もございます。また子どもの状況に応じてグルーブレスンに切り替える場合もあります。	今後も継続して実施していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	△		個別対応ですので、特に役割分担はございません。ただし、療育前には前回までの療育内容等の情報共有を行っています。	今後も継続して実施していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		療育の報告書を書く段階で情報共有をいたしております。	時間配分を考え、さらに共有ができるよう努めていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		療育終了後は報告書の記載と保存を徹底し、かつ別シートにアセスメントとなる情報記載・情報共有をし、改善につなげるよう努めています。	今後も継続して実施していきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		職員（指導員）皆で見直しをし、取り組み内容の判断を行っています。	今後も継続して実施していきます。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		可能な限り主たる指導員も参加するようにしています。	今後も継続して実施していきます。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	△		必要な場合に、こちらからお声かけをさせていただき、保護者を通してお願いするという形で実施しています。	今後もっと連携をし、チームで支援していけるよう活動していく予定です。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		並行利用はしております。また必要に応じてこちらからお声かけをさせていただき、保護者を通してお願いするという形で実施しています。	今後もっと連携をし、チームで支援していけるよう活動していく予定です。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		個々での活動内容や強み、苦手なことへの対応方法などを提供しています。	今後も継続して実施していきます。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	-	-		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	-	-		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	-	-		
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	△		電話で助言をいただくことが主ですが、特に専門的な内容の場合はこちらからうかがって助言を受けるようしています。	今後も継続して実施していきます。
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○			残念ながら現在は実施していません。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		児童発達支援管理責任者以外にも直接支援をしている指導員も積極的に実施しています。またビジネスLINEも活用しています。	今後も継続して実施していきます。	

	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	LINE等で、市開催あるいは他機関での家族支援プログラム等の情報共有を行っています。	事業所内においては個別での対応になることが多く、現在は実施できていませんが、今後はペアレント・トレーニング、ペアレント・プログラムの実施を検討していきます。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。		○	契約時に実施しています。また内容が変更になる時はあらかじめ実施しています。	今後も継続して実施していきます。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。		○	療育の取り組み時に意向を確認しており、それを優先する、順番を入れかえる等最善の利益が受けられるよう努めています。	今後も継続して実施していきます。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。		○		今後も継続して実施していきます。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。		○	毎療育後の説明時、LINE等の連絡帳、あるいはお電話でご相談いただいた時は、その場あるいは面談の予定を組み、助言・支援を行っております。	今後も継続して実施していきます。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		△		計画はあるのですが、実施できておりません。今後は実施できるよう行動していきたいと考えます。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		○	苦情までいかない小さなことも共有いただくよう保護者の皆さまにお伝えしています。	今後も継続して実施していきます。職員間での情報共有もしっかりとしていきます。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。		○		現在、定期的な発信はできておりません。職員からも定期的な発信を望む声を上げていますので、具体的に進めていこうと考えます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。		○	鍵付き書棚に保管し、取り扱いには十分配慮しております。	今後も継続して実施していきます。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		○	視覚伝達やゆっくり話すなどを行っています。	様々な伝達方法を取り入れ、様々な状況に対応できるよう努めています。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		特に行事に招待することはしておりませんが、何がしかの方法を用い、地域に開かれた運営をしていきたいと考えます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○	各種マニュアルを作成しています。発生を想定した訓練も、個別療育の際に行っております。	次年度は新たな設定を設けて、訓練を行っていかうと考えます。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		○		机上訓練に加えて、様々な設定を創作し、実際に行動に移す訓練を実施していきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。		○	初期アセスメントの時、あるいは薬が変わった段階で共有いただき、事業所内にて情報共有を行っています。	ご利用途中での発症や投薬開始についてもその都度対応しております。今後も注意深く対応していきます。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○		食事の提供はしておりません。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		○		次年度より法人全体で共有し、それに基づいて実施していきます。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○		わかりにくい部分もあるようですので、わかりやすく周知していくよう努めます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		○	ファイルを準備して、情報共有および対策を話し合っています。	今後も継続して実施していきます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。		○	定期的な研修の実施および防犯カメラの各部屋、事務所に防犯カメラの設置をしております。	小さなことでも見逃さないように職員一同で声をかけあい、風通しのよい環境を整備していきます。

53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○	事前に会議で検討し、保護者の皆さまと話し合っていますが、できるだけそのようなことがないよう努めています。	今後も継続して実施しています。
----	--	---	--	-----------------